

## 1. 教育計画

公衆衛生看護学

分野	統合分野 公衆衛生看護学	科目名	地域組織化活動論
単位・時間	1 単位・30 時間	対象学年	3 年生
方法	講義、演習	時期	後期
講師名 (担当授業時間数)	地域組織化活動 専任教員 平田あかり (16 時間) 地域組織化活動の実際 専任教員 斎藤 恵子 (4 時間) 地域ケアシステム 外部講師 島野 光正 (8 時間)		
講師の実務経験	看護師として星総合病院に 10 年3 ヵ月 看護師として他病院に 1 年、保健師として自治体に 36 年		
学習目標	1. 地域組織化活動のプロセスと方法を知り、看護職の役割を理解できる。 2. 個人・家族・地域を取り巻く保健・医療・福祉をシステム化する必要性とその方法を理解できる。		
成績評価方法	平田 50 点 (筆記 30 点 課題 10 点 レポート 10 点) 島野 50 点 (筆記) 合計 100 点とする。 出席状況、授業態度等も評価に含む		
教科書	保健学講座2 公衆衛生看護支援技術 メヂカルフレンド社		
参考書	資料は随時配布する		
履修上の留意	授業準備として、教科書をよく読んでくること 冬季課題として、グループインタビューを行うこと		
講師からの メッセージ	保健師が支援の対象とするのは、個人だけでなく住民組織、自主グループなど様々です。個人の問題は地域の課題として、誰もが暮らしやすい地域づくりの支援方法を学びましょう。		

## 2. 授業計画【地域組織化】

回	時間	学習項目	学習内容	形態	担当者
1	4	グループ・組織化と 支援の技術	概念、定義、理論の整理	講義	平田
2	グループの形成・育成支援・支援の評価				
3	4	地域組織化活動の 実際	地域力を高める地域組織化活動の実際	講義	斎藤
4					
5	4	地域ケアシステム とは	地域ケアシステムの概念	講義	平田
6			地域ケアシステムと保健師の役割		
7	4	グループインタビ ューの共有会	冬季休暇中に行ったインタビューについ て皆で共有する	演習	平田
8					
9	4	地区組織活動とは	ディベート	演習	平田
10			地区組織活動、グループ支援の必要性		

回	時間	学習項目	学習内容	形態	担当者
11	4	地域ケアシステムの構築	ネットワークの形成とシステムづくりの実際	講義	島野
12			地域ケアシステム構築のポイント		
13	4	地域力を高めていくケアコーディネーションとネットワークの構築	ケアコーディネーション・ネットワーク構築の実際	講義	島野
14					
15	2	評価	筆記試験		平田 島野